



芦屋ユネスコ協会

AU 通信

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

平成25年芦屋ユネスコ世界遺産・地域遺産見学バスツアー 「春の近江路・彦根城を訪ねる旅」

在原業平風に書きました。

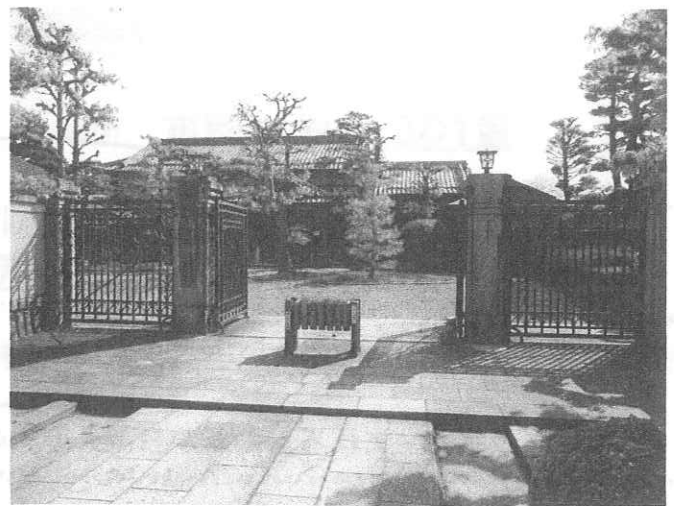
今年の旅は琵琶湖を望む滋賀県へ足を延ばしました。芦屋では葉桜となった桜ですが、北国彦根では明るい春の日差しに映え満開の笑顔で迎えてくれました。武家精神文化の首都ともいえる彦根のお殿様がお出迎えいただけるとのことで期待に胸ふくらませ参上致しました。当地では徳川江戸幕府をささえた井伊家18代当主（彦根ユネスコ協会名誉会長）が会長と共に歓迎いただきました。ご承知の通り彦根城は平成4年に日本の世界遺産暫定リストに先陣をきり登録され今日に至っています。そんな中昨年2月に彦根ユネスコ協会が設立され1周年お祝いと世界遺産登録推進激励を兼ね訪問させていただいた次第です。



彦根ユネスコ協会名誉会長とお城をバックに記念撮影



彦根城天守閣を望む



藤井彦四郎邸

遠い昔には大陸文化を受容し日本の運命を決する壬申の乱と関ヶ原の戦いの舞台となるこの地周辺の中核となり花開いた彦根の歴史の奥深さに感銘を感じました。男の中の男、それが彦根のお殿様でしょうか。午餐後記念写真をご一緒いただき次の目的地五個荘（東近江市）の近江商人の屋敷藤井彦四郎邸へと向かいました。琵琶湖を模した池もあり豪邸でした。儉約・勤勉・誠実をモットーとし全国に雄飛した近江商人は大阪別宅のある芦屋とも縁が深く里帰りした気分になられた方もおられたようです。業平祖父の平城天皇より遡ること十数世代第38代天智天皇の御世この地で謡われた相聞歌く茜指す紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る（巻1・20・額田姫王）く紫の匂へる妹を憎くあらば人妻ゆゑに我恋ひめやも（巻1・21・大海人皇子）を思い出しながら京滋バイパスを帰路についたのでございます。

芦屋ユネスコ協会交流部会理事 中川明

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟(以下 日ユ協連と略称) 関連報告

芦屋ユネスコ協会 廣瀬忠子会長は日ユ協連の第62回通常総会及び第477回理事会にて2011年～2012年度(23年4月～25年3月)理事及び評議員に選出され、下記の通り活動してこられました。

- 1) 定例理事会 年5回、臨時理事会の出席
- 2) 近畿ブロック研究会に主催者として出席
- 3) 評議委員会開催にあわせてブロック連絡会を開催
- 4) 県大会、各ユ協総会依頼があれば可能な範囲で出席
- 5) 理事会依頼に応え、可能な範囲で業務を行う。

日ユ協連の全理事28名中、“近畿ブロック代表理事”として、また全評議員86団体の内、近畿ブロック11団体中芦屋ユネスコ協会会長が評議員の一員としてそれぞれご活躍いただきました。

ユネスコ・世界寺子屋運動

1987年の秋、マイケル・ジャクソンがコンサートツアーで初来日しました。このときマイケルは、日本訪問の記念としてユネスコ活動に役立ちたいとマイケルの肖像入りの金メダル（マイケル・メダル、裏面には「ユネスコ・コアアクションのために」というマイケルのサインが彫られていた）の販売とチャリティー・オークション用の愛用品提供を日本ユネスコ協会連盟に申し出ました。その純益 1200 万円余りはマイケルの希望に添って、読み書きのできない発展途上国の人々を支援するユネスコ・コアアクション（Unesco Co-Action、発展途上国と先進工業国の人々がともに協力して行動するという意味がこめられている）活動に使うことが決まりました。こうして日本の識字支援活動は 1989 年からスタートしました。1990 年はユネスコ提唱の「国際識字年」でした。ユネスコは“すべての人に教育を”をキャッチフレーズに、2000 年までに目標を達成しようと世界中の人々に協力を呼びかけました。ユネスコの呼びかけに応え、本格的に識字支援に参加することになった日本ユネスコ協会連盟は識字運動をわかりやすく表現する言葉はないものかと知恵をしばりました。

「世界寺子屋運動」はどう？と、ボランティアから提案がありました。寺小屋というのは、江戸時代、庶民の子弟のために「読み書きソロバン」を教えた学習塾のことです。幕末には全国に 1 万を超す寺子屋があったといえます。鎌倉から室町時代には寺に集まる寺子を相手に教えていたから、その後も学習塾を「寺子屋」と呼んでいました。こうして 1990 年から発展途上国の識字活動を支援する“世界寺子屋運動”はスタートしました。最初は日本国内キャンペーン用だったこのネーミングも、ユネスコ・世界寺子屋運動が広まるにつれて、そのまま世界に通用する言葉になりました。今では国際会議でも“World TERAKOYA Movement”という言葉がいきかっています。

世界寺子屋運動は皆様の書き損じハガキ（未使用分）のご寄付で運営されております。

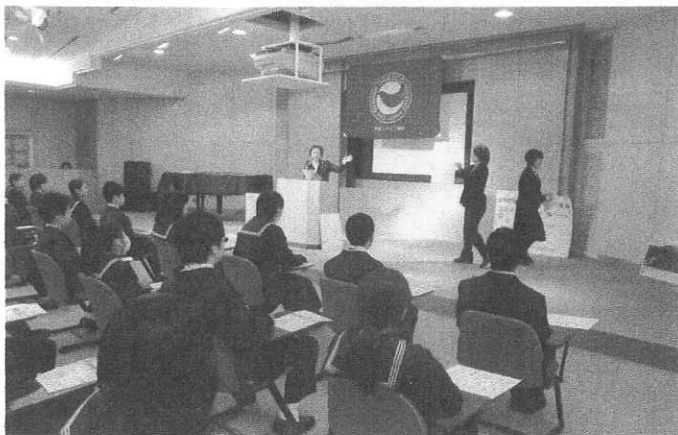
書き損じ葉書 1 枚で 45 円分の募金になります

葉書 1 枚分で買えるもの

ネパール、アフガニスタン・・・鉛筆が 7 本
カンボジア・・・チョーク 150 本
インド・・・鉛筆 9 本
ベトナム・・・ボールペン 4 本

アフガニスタンでは、葉書 176 枚分で一人が 1 年間学ぶことができます。

芦屋ユネスコ協会 出前授業



芦屋ユネスコ協会と学校教育現場の連携として、例年学校訪問に出かけて世界寺子屋ユネスコ活動を続けています。“ユネスコとは？”生徒達に世界寺子屋 DVD、世界遺産のパネルを見せ、クイズをまじえ、わかりやすくお話ししています。

昨年は、芦屋市立朝日ヶ丘小学校、打出浜小学校、山手中学校、私立芦屋学園中学校・高等学校へ参りました。今年に入って 2 月 25 日（月）芦屋市立山手小学校は朝礼で全校生徒（500～600 名）の前で、その後教室にて 6 年生（60～80 名）に出前授業を行いました。

3 月 4 日（月）市立岩園小学校、3 月 14 日（火）私立芦屋学園に参りました。

校長先生、先生方に助けていただきながら、今後も続けてユネスコ活動に頑張りたいと思います。書き損じハガキも大事な運動です。世界の平和を願い皆で頑張しましょう。

芦屋ユネスコ協会 常任理事・事務局次長 塩井 君子

2013年度 総会 出席のお願い

下記の日時で、本年度の総会が開催されますのでご予定ください。

日時: **6月21日(金曜日)午後 5時30分～** 場所: **市民センター 301室**

総会終了後、**特別記念講演**(講師は芦屋病院管理責任者) がありその後、隣接の多目的ホールにおいて **会員交流懇親会(パーティー)**を行います。

案内とご返事の往復ハガキを差し上げますので、到着次第、すぐに出欠の返信をして下さい。万一欠席の場合は委任状に必ず署名・捺印して返信して下さい。

2013年度 年会費 納入のお願い

本年度(4月1日～3月31日分)の芦屋ユネスコ協会の年会費未納の方はなるべく早く納入して下さい。出来るだけ役員さんに現金で届けて頂ければ有難いです。(領収書をすぐにお送りします)

● 銀行に振込んで頂く場合は

三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通口座 3901693

口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 廣瀬 忠子

※ 納入の遅くなった方は、6月21日(金)の総会で担当者に現金で納入して下さい。

ご予約頂きたい当面の主要行事と日程……追って詳細連絡します

- ◎ 6月21日(金)17時30分(市民センター)―総会・記念講演・会員懇親会
- ◎ 7月19日(金)10時(JR芦屋駅) ―民間ユネスコPR街頭行事(チラシ配布)
- ◎ 8月15日(木)12時(市民センター) ―平和の鐘を鳴らそう行事(含:軽食・懇談会)
- ◎12月17日(火)18時(ホテル竹園) ―年末講演会&親睦会(ディナー・ビンゴ・エンターテイメント)

日本ユネスコ協会連盟からの東日本大震災の支援募金にご協力をお願い致します

世界寺小屋運動のための「書き損じハガキ」のご提供をお願い致します

編集後記

桜も完全に終わり汗ばむ日がまたやってまいります。桜満開の彦根城へのバスツアーも無事に終了。昨年の旅行は爆弾低気圧に邪魔されましたが今年はその分を取り返すほどのすばらしい天気にも恵まれました。

総会のお知らせの時期になりました。

まだまだ天気不順の日がありますが、体調に気をつけて皆様多数の出席をお待ちしております。

本荘 美恵